

記録：第 364 回海外邦人安全対策連絡協議会

11月14日、「第364回海外邦人安全対策連絡協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり。主な議題は、①邦人等被害の状況、②入管手続きの状況、③デモの状況、④インフルエンザの状況など。

1. 冒頭

(大使館総括公使)

引き続き大使館では在留邦人が巻き込まれる事案の報告を受けており、追って大使館側から報告させていただく。既に今月10日からはサッカーU-17ワールドカップが始まっており、今週末にはJJM（ジャカルタ日本祭り）が開催される。十分気を付けてご参加いただきたい。

内政に目を向けると、昨日、総選挙委員会が大統領・副大統領候補のペア3組を正式に認定した。11月28日から2月10日にかけて選挙キャンペーンが本格的に始まる。そのような中でデモなどに巻き込まれることがないよう気を付けていただきたい。特に憲法裁判所が下した、年齢制限があるにも関わらず首長経験者であれば年齢に関わりなく正・副大統領の候補になれるといった決定を受け、ジョコ大統領の長男が副大統領候補となったこともあり、インドネシア国内でも様々な議論を惹起しており、そういった方面にもご注意ください。

また、外に目を向けると、イスラエル・パレスチナ情勢がかなり激化しており、長期化する見通しにある。インドネシアもガザ情勢には敏感なお国柄でもあり、まだ大きな騒乱のような形でインドネシア国内でデモ等は見られないものの、アメリカ大使館前でのデモもあったり、マレーシアでは欧米企業、さらには日系企業への不買運動がSNSを通じて流れているというような報道も見られる。当地でそのような兆候が見られる、又は、実際にそのようなケースがあるということがあれば、大使館にも情報共有いただけるとありがたい。

2. 医療関連状況について

(大使館医務官)

感染症に関しては、先月末頃からインフルエンザがかなり流行していると当地の医療機関からの情報もあり、日本人学校でも流行しているという話も聞いているが、引き続き感染予防対策にご留意いただきたい。

もう1点、当地の医療機関から、狂犬病のワクチンがジャカルタで不足気味になっているという話を聞いている。ジャカルタでは犬は多くないものの、そのほかの哺乳類、例えば猫なども感染のリスクがない訳ではないので、むやみに動物に近づかないよう気を付けていただきたい。

3. 治安ならびに邦人に関わる最近の事件・事故報告

(政務部書記官欠席。警備班書記官より報告)

政務部の関連を3点、代理で報告する。

1点目は、大統領選挙等に関して、インドネシア国家警察及び治安関係当局は既に警戒態勢に入っている。2019年の大統領選挙の際は、総選挙委員会(KPU)を狙った爆弾テロ未遂事案やジャカルタ市内での大規模なデモ・暴動が発生するなどした。大使館からのお知らせ等を参照しながら引き続き適度な注意・警戒を保持されたい。

2点目は、今般のイスラエル・パレスチナ間の武力衝突に端を発し、当地米国大使館の前でデモが発生するなどしている。当地において直ちに日本に対する脅威になるとは考えていないが、引き続き事態の推移を注視する必要がある。

3点目は、なお、10月6日、日本大使がジャカルタ警視庁のカルヨト本部長を表敬訪問した。同本部長には、在留邦人が安全に暮らし、企業活動を円滑に行えるよう、引き続きの支援を依頼した。

(警備班書記官)

邦人被害について2件報告する。

1件目は、Instagramを通じた詐欺被害。10月下旬、iPhone15を購入しようとしてiBoxの予約サイトにアクセスしたところ、エラーが表示されたため、iBoxのものと思われるInstagramを通じてiPhoneを購入し、偽アカウントと気付かず送金、結局商品が届かず詐欺被害に遭ったことが判明した。その他にも、Instagramを通じてコンサートチケットを購入し、お金を振り込んだ後、相手方が音信不通になるというような詐欺被害も報告されている。偽のアカウントはキャンペーンスタートを狙って発生する傾向にある。Instagramを通じて物品を購入する際には、正規のサイトかどうかを確認するなど十分注意いただきたい。また高額な物品については、直接店頭で購入することをお勧めする。

2件目は、強盗被害について報告する。10月下旬頃、30代の旅行者の邦人男性が、午前0時前後に、ジャカルタ北部のクルパガディンからコタ地区周辺を徒歩で散歩していたところ強盗の被害に遭っている。状況は、インドネシア人男性5人組に突然囲まれ身につけていたショルダーバッグを奪われそうになり、咄嗟にバッグを取られまいと守ったところ、男らに服を引っ張られ、顔面を殴られたりして、結果として財布やスマートフォン、ショルダーバッグを強取されている。深夜帯の外出は今一度、極力控えていただき、特に一人で徒歩移動することは避けていただきたい。夜間は車両を利用する、またやむを得ず徒歩を強いられる場合は、明るく人通りのある道を選ぶなど対策を取って十分に気を付けていただきたい。

4. 各社・機関からの状況報告

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

最近起こった事例で、日本からの派遣員が住むサービスアパートで iPad や Apple Watch が盗まれる被害があった。サービスアパートの CCTV をチェックした結果、アパート関係者の犯行であること分かり、アパート側とも弁償等も含め今後の対応を協議しているところ。やはり時折このような事態が起こると思うので、注意喚起も含めて共有させていただく。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

前回、VOA を 5000 円ではなく 6000 円請求され、領収書が出なかったという共有があったかと思うが、似たような話があり、共有したい。両方とも日本人の高齢の女性またはご夫婦の方。

1 件目は、e-VOA を取得済みのため、外国人のレーンに並んで、イミグレーションのブースで日本語に訳した画面を見せられ、お金を要求するような内容が書かれていた。お金を持っていないと言って断り実際に被害はなかったとのこと。

2 件目は、ジャカルタに到着してから 2 人だったので VOA 2 人分の 1 ジュタを支払い VOA を購入してレーンに並んだところ、イミグレーションのブースで再度 1 ジュタを請求され、もうルピアを持っておらず全部使ってしまったということで、「ルピアはない。円しかっていない。」と伝えたところ、じゃあ通っていいと言われこれも被害はなかったとのこと。

以上 2 件、イミグレーション絡みの事例を耳にしたので共有させていただく。

(大使館領事部長より補足)

大使館としても入管に対して、このようなことがないよう気を付けてほしいと申し入れしようとしても、いつ何時に誰がそのようなことを言ったのか教えてほしいと聞かれ、これは個人でやっていることかと思われるので個人が特定できないと追及できないということもあり非常に難しい問題。とにかく支払わないということで対応いただく必要がある。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

製品のボイコット運動という話があるため、弊社の状況含め共有させていただく。特に欧米企業の製品、及び外食産業を中心に徐々に広まりつつある。特に SNS を介してリスト化されたものが出回っており、これらが拡散されている状況。具体的には、アメリカ企業であればマクドナルド、KFC、スタバ、コカ・コーラ、ディズニーといった企業の名前やロゴ、欧州の企業であればネスレ、ユニリーバ、ダノンなど。さらにこのような動きを助長しているのが、MUI=インドネシア・ウラマ評議会で、今日の NNA にも記事が出ていたのでご覧になっている方もいるかと思うが、製品がハラルであるか否かの判断を行う団体である。この団体は、政府と関係ない独立した団体であるが、この団体が、イスラエルを支援しているとみなす企業の製品をボイコットしようということを先週正式に表明している。これを一つのきっかけにしてそういった動きが拡大している。この動きに対して我々は適切に対応していて、先週の時点で我々の立場を表明するような Q&A 集を作ったり、暴力や紛争には反対しますといういわゆる中立的な立場を表明するステートメントを用意し全ての営業社員に配布している。また本社の経営リスク委員会等にも逐次報告している状況。目立った影響が出ている訳ではないが、やや火が付き始めている状況なので、適切な対応ができるような準備をして対応している。

(大使館領事部長より質問)

今の話は、具体的に貴社製品の名前が挙げられた上でそういった動きがあるということか。

(企業より回答)

弊社は日系企業もしくはインドネシアの企業と認知されていると思っており、リスト等にも弊社の名前は挙げられてはいない。具体的には先ほど申し上げたような企業の製品が挙げられている状況。そのような企業及び製品の中には弊社の競合の製品等も入っているため、例えばユニリーバの調味料を使わずに弊社の調味料を使おう、というパサール(市場)の店主がいたりとか、そういう大手企業の製品を撤去しようとする動きがあったりとか、そこまで件数が多い訳ではないが、もうそういうことを言い始めている人たちがいるという事実がある。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

社内に関しては報告事項はなし。

東部工業団地側では、インドネシアの労働組合 KSPSI (全インドネシア労働組合総連合)、KSBI (インドネシア全労働組合同盟)、こちらが明日、大きなデモを、ジャワバラット側のブカシ、カラワン、プルワカルタ等々にて予定されている、要求内容は、

来年度の最低賃金 15%アップ、その他諸々オムニバス含めてのもの。今月末に各州や地域の最低賃金が発表されると思われるので、こういったデモが増えてくるとと思われる。デモに遭遇した際にはご注意ください、その場から離れるなどの対応をお願いしたい。

(企業からの報告)

特段の報告事項はなし。

(JJC)

セミナーのご報告。大使館警備班書記官に講師をお願いし、来週 20 日(月)安全に関わるセミナーを予定している。既にご案内差し上げているところ、皆様の参加をお待ちしている。

(JICA)

先日関係者が Whoosh (=ジャカルターバンドン高速鉄道) に乗車して出張に行ったところ、ハリム駅の改札口に関して、皆様にぜひ気を付けていただきたいことがあったので共有させていただく。ハリム駅で降りる際に 3 番改札を取ったところ、エスカレーターから改札口までの距離が非常に短く、その結果利用者が多くたくさんの方が降りる時間帯だと改札口とエスカレーターの間で人が非常に溜まってしまふ事象が起きてしまうとのこと。エスカレーターから降りてくる人がその空間に溜まって将棋倒しになりそうがあった。利用される場合はご注意ください。

(チカラン日本人学校)

特段の報告事項はなし。

(ジャカルタ日本人学校)

2 点報告する。

1 点目はインフルエンザの流行に関して、10 月末に中学 1 年で感染者が多く出たために、すべてオンライン授業に切り替えたことがあった。今は沈静化して、通常どおり授業している。

2 点目、週末のブンカルノ競技場でのサッカー大会で、カバンごと盗まれる被害が複数あった。当方からは領事部へ連絡するようにとお伝えしたところ。

(企業からの報告)

ただいま話があったインフルエンザに関して、当方が経験した話を共有する。インフルエンザに罹った場合、日本人であればタミフルという薬を探すが、インドネシアではインフルエンザのピークの時に日系のクリニックに行くと、タミフルがないと言われたことが 2 回ほどあった。どうすれば良いかと色々調べたところ、インドネシアではオステラタミフィルと少し名前が違う。自分で薬局に電話して聞いたりしたところ、タミフルと言っても通じないが、オステラタミフィルと言えば実は在庫がたくさんあるということがあった。実際、タミフルとオステラタミフィルは中身は同じものなので、最終的にジャカルタのマヤパダ病院にはオステラタミフィルがあった。日系のクリニックなどでタミフルをください、と言っても通じないことがあるので、共

有させていただく。

5. そのほか

(大使館領事部長)

1 点目は、相変わらず入管とのトラブルで大使館に相談されるケースが本当に多い。この場では何度も紹介しているが、例えば引っ越しをして入管に届け出ていなかったとか、同じアパートでも階が変わったり部屋番号が変わっただけでも入管に届け出ないと、入管のデータと実際の住所が一致しないということで呼び出しを受けて、いわゆる罰金と称するお金を請求してくるというケースが最近もあった。住所以外にも、例えば職場での肩書きやポジションが変わっただけでも、入管のデータと一致しないので入管法に違反していると、重箱の隅をつつくような指摘をして罰金と称するお金を要求してくるケースがいまだに横行してる。入管法違反と言われると、大使館としても間に入ることも難しくなるため、皆様としては入管に付け入る隙を与えないという形でお気をつけていただきたい。

2 点目は、一昨日報告があった話で、空港に到着して取得する到着ビザ (VOA) で入国した方が、30 日間では日程が足らなくなってしまう、延長するためにオンラインで VOA の延長手続きを行い、さらに 27 日間滞在し、合計 57 日間滞在して日本へ帰国しようとしたところ、オンラインで登録したはずの延長手続きが一切入管の方には認知されておらず、単純に 27 日間のオーバーステイ扱いとなり、罰金を請求されてしまったケースがある。入管側の説明では、最初にオンラインで VOA (e-VOA) を申請してインドネシアに入国した方はまたオンラインで延長手続きができるが、最初に空港で VOA を取得した方はオンラインで延長手続きはできず、新規に VOA を取得しただけとみなされ、結果としてオーバーステイになるという事案があったので気を付けていただきたい。

3 点目は、今週末にジャカルタ日本祭り (JJM) が開催される。ありがたいことにたくさんのインドネシア人の方にも来場いただき盛況になることが予想されているが、昨年はカバンの中に入れていた携帯電話を盗まれるという事案が発生したので、お祭りに行かれる方も多いと思うが、特にスリやひったくりといった犯罪には十分気を付けていただきたい。

最後に、前回もこの場で紹介したが、「海外での滞在や生活等に関する基礎調査」というアンケートのメールが 10 月 26 日に外務省から在留届を出されている皆様に届いたかと思われる。回答期限が明後日 16 日 (木) までとなっているので、もしまだ回答されていない場合は、10 分程度で回答できるアンケート調査なのでご協力をお願いしたい。

(大使館総括公使より質問)

ガザ情勢を受けての製品ボイコット運動に関して 2 点質問する。

1 点目は、出回っているリストについて、リストを回している主体は MUI か。

2点目は、リストの中には日系企業は含まれていないか。

(企業からの回答)

1点目は、MUI からではない。出所不詳ではあるが、少し気になるのは警察から出ているという情報もある。警察から地方の首長に出ているという情報があり、その情報自体が信頼できるかも分からないが、そういった話がある。

2点目は、日系企業は含まれていない。見たところ一切入っていないように見える。必要であれば後ほど大使館へ共有させていただく。

次回海安協は2023年12月12日(火)開催予定。